

ねがう
願

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

今年も花粉症の方にはつらい季節がやってきました。今年の花粉の飛散量は、昨年の2倍以上で例年よりも多めという予想が報道されていて、ベテランの花粉症患者の私としては、そんなニュースを見ているだけでも、目や鼻がむずむずしてくる感じがします。今年も早めに病院に行くなどの対策で、何とか乗り越えたいと思います。

さて、今月の16日から、東京メトロ副都心線と東急東横線が相互直通運転を始めます。これにより、朝霞からも乗り換えなしで、自由が丘や横浜方面へ行けるようになります。また、東急東横線は、すでに横浜高速鉄道みなとみらい線と相互直通運転をしていますので、横浜駅だけでなく、その先の元町・中華街駅までも行けるようになります。朝霞から横浜方面へ通勤、通学している方や、週末に観光に出かける方などには、良いことづくめなのですが、

たくさんの路線が、相互に乗り入れることによって、運行ダイヤはさらに複雑になりますので、事故やダイヤの乱れによる混乱など、注意して見守っていきたいと思っています。そうはいつても、乗り換えなしで横浜方面から朝霞まで来られるようにもなりますので、今年で30回目を迎える市民まつり彩夏祭に、東急東横線沿線などからもたくさんの方が見に来てくれるといいなと少し期待をしています。

ところで、1月4日からコミュニティセンターの1階に女性センター「それいゆぷらざ」がオープンしています。この愛称は広く全国から募集したもので、「それいゆ」とは、フランス語の「太陽」の意味で、女性も男性も「それいゆ（太陽）」のように、光り輝けるよう応援する場所になるようにとの願いが込められています。市では、平成15年3月に男女平等推進条例を制定して、性別などにとらわれずに、男女の輪によって、住みやすく暮らしやすいまちになるよう、さまざまな講座を開催したり、相談業務を行ったりしてきました。

「それいゆぷらざ」には、男女平等に関する図書やインターネットが閲覧でき、交流の場としても利用できる情報・交流コーナーや、相談に見えられた方が、落ち着いてお話できるようプライバシー保護に配慮した相談室などがあります。女性総合相談やDV相談も実施していますので、お気軽にご利用ください。では、また。

朝霞市は男女平等を進めています

1月26日(土)、中央公民館・コミュニティセンターにおいて、『これからの男女共同参画ひと—女と男の再チャレンジ』と題し、元埼玉県副知事で現在は昭和女子大学学長としてご活躍されている坂東眞理子ばんどう まりこさんを講師にお迎えして、女性センター—それいゆぷらざ開所に伴う記念講演会を開催しました。

前半は、仕事と家庭を両立することの苦労話から、男女共同参画にまつわる歴史や、坂東さんが公務員時代にかかわってきた政策などについて、後半は、私たちはこれからどういう社会をつくりどのように生きていくのか、家庭や学校での教育、ワーク・ライフ・バランスなどを交えながらお話しされました。

～それいゆぷらざ（女性センター）で記念講演会を開催しました！～



参加された皆さんは熱心に耳を傾け、終了後のアンケートでは「自分なりに出来ることを始めた」という前向きな感想が聞かれました。

ひとの推移

人口	13万1,540人（－54人）	世帯数	5万8,971世帯
男	6万7,036人（－34人）		（－54世帯）
女	6万4,504人（－20人）	平成25年2月1日現在（ ）内は前月比	

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

☎／それいゆぷらざ（女性センター）
☎463-2697